

設計演習 II

2. 地域の図書館－地域コミュニティの場づくり

担当：黒田龍二・浅井保・中江研

地域のコミュニティ施設としての図書館を、下記にしたがって計画、設計する。

1. 演習のねらい

(1) 公共図書館のネットワークと役割分担、図書館の機能、図書館建築の機能・空間構成を理解すること。

(2) 施設が立地する地域の歴史、空間的・社会的特徴を把握し、地域コミュニティ施設のあり方を考えること。

(3) 以上を踏まえて、地域コミュニティ施設としての図書館の望ましい空間を提案すること。

4. 計画建物の概要

(1) 延床面積 1,600 m²前後

(±10%程度の増減は可、ビロディ、庇、バルコニー、屋外階段等は面積に参入しなくてよい。)

注意：敷地I、IIはともに容積率 200%の地区で 3千m²以上の敷地面積があるが、本課題では上記の延べ床面積とする。

(2) RC造、鉄骨造、または木造（準耐火建築物）

(3) 階数／複数階（平屋建ては不可）

5. 提出図面・用紙

(1) 所要図面

配置図 1/500 建物本体については屋根伏図で示すこと。

各階平面図 1/100 1階平面図には外部空間の計画を明示のこと。

立面図 1/100 2面以上。

断面図 1/100 設計意図のわかる断面を1面以上。

透視図（必須）1葉以上
図面にはりこむなどして提出図面のサイズは統一

模型写真（必須）1葉以上 同上

*※断面図、透視図、模型写真は設計の意図が十分に伝わる部分を適切に選ぶこと

(2) 用紙： A1ケント紙あるいは同等の紙（プレゼンテーションの工夫として色つきの紙でもよい）
鉛筆、インキング等の仕上げ自由。

模型写真の貼込みなどは可とするが、図面一枚全部をプリント出力の場合、貼り合わせは不可。A1一枚ものとして出力のこと。

■敷地 I

阪急六甲駅南側、六甲八幡神社境内に隣接する敷地。

敷地面積 約 3,230 m²

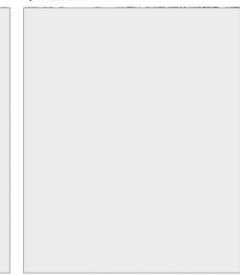
第一種中高層住居専用地域／建築率 60%、容積率 60%、容積率 200%

■敷地 II

阪神新在家駅南側、新在家南公園の北側の敷地。

敷地面積 約 3,103 m²

準工業地域／建築率 60%、容積率 200%

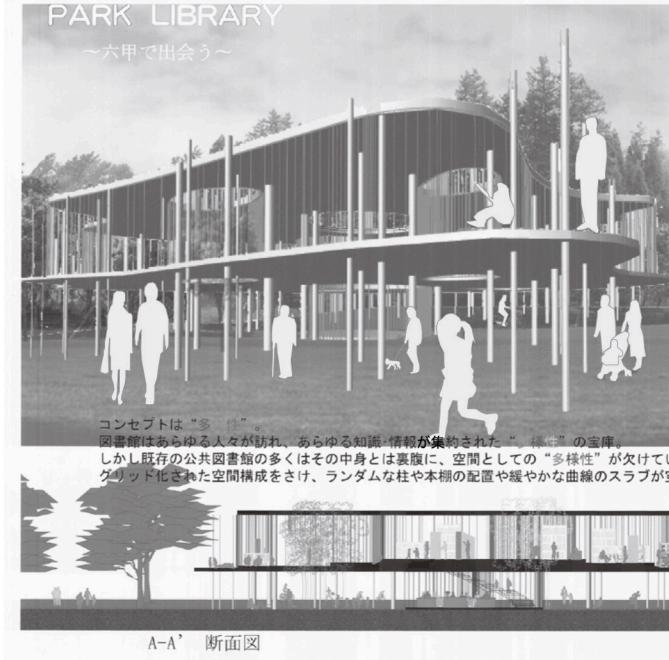


PARK LIBRARY ~六甲で出会う~

森田久也

PARK LIBRARY

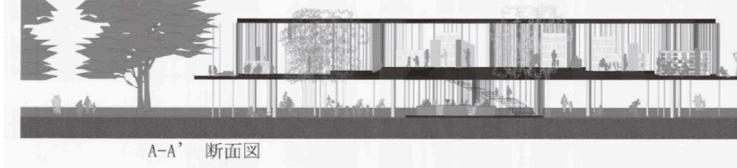
~六甲で出会う~



コンセプトは“多様性”

図書館はあらゆる人々が訪れる、あらゆる知識・情報が集約された“多様性”的宝庫。

しかし既存の公共図書館の多くはその中身とは裏腹に、空間としての“多様性”が欠けているように感じる。グリッド化された空間構成をさげ、ランダムな柱や木樁の配置や緩やかな曲線のスラブが空間を“多様”に切り取る。



構成システム

自然界に見られる「構成要素」をもじり、しているルールで着目し、今後のパラナード空間的構成をもめぐらす動きを構築の構成システムに取り入れることにする。
これを“プランニング(段階分け)システム”と呼ぶことにする。

ダイアグラム



森田 久也

図書館に灯る

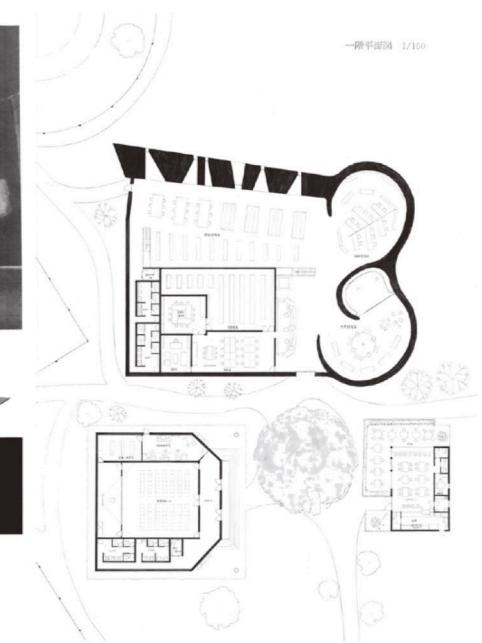
山田菜摘



図書館に灯る

山田菜摘

一階平面図 1/100



Diagram

